

第 5 1 号

令和2年11月15日発行
— 編集・発行 —
豊津地区まちづくり委員会
(情報発信専門部)

とよつだより

▼ まだ出発したばかりなので、みんな余裕の笑顔です！



みんなで元気にサイクリング
秋の北浦もさわやかでした！

10/24

新型コロナウイルスの感染状況も落ち着いているということから、例年五月に実施している「北浦一周サイクリング」(共催・豊津子ども会育成会)を、十月二十四日に実施しました。

待ちに待っていたサイクリングということで、参加した十九人の子どもたちは大喜び。元気良くペダルを踏み続け、約四十キロのコースを仲良く完走しました。(小学校の先生方の参加も含め、総参加者五十人)霞ヶ浦(北浦)の水質浄化を目的に実施しているこの事業も、今回で数えること、三十八回。ぜひ絶やすことなく、次の代にもつなげていくてほしいと思います。

運動不足の解消にも最適なサイクリング、来年度も多くの参加をお待ちしています。(一般の方、大歓迎です)

(参加者の声)

★ 初めて参加したけど、楽しかった。
▼ 二年生・今泉和士(かずし)くん
★ 腰が痛かった。
▼ 五年生・海老沢奏来(そら)くん
★ みんなで走って楽しかったです。
▼ 三年生・君和田蓮(れん)くん
★ 皆さんの協力で安全に実施でき、ありがとうございました。楽しかったので、ぜひ次回も参加したいです。
▼ 育成会役員・今泉知香さん



▲ 頑張って隊列を引っ張りました



▲ 今年も参上！とよつバイク隊
(右端は校長先生です)



▲ 昼食場所として行方市の「白浜ウォーキングセンター」をお借りしました。快くお貸しいただきありがとうございました。



▲ 北浦大橋を目指して順調に。気分爽快！
▼ この標語を、みんな忘れないでね！



▲ (上) 絶好のサイクリング日和で気分はアゲアゲ？
(下) 北浦大橋を無事通過！

創ろう！ 豊津の明るい未来!!

地域コミュニティプラン作成へ

昨年度、「豊津の未来を考える」と題したまちづくり事業を行い、福祉と農業について地域の皆さんと考えました。

また、市全体でも中央公民館主催で、まちづくり研修会と3回のまちづくり講座として、常磐大学総合政策学部の砂金祐年（いさごさちとし）教授と佐々木一如（ささき かずゆき）准教授を招き、コミュニティプランの策定について研修や実習を行いました。これを受け、今年度は豊津地区を始めとする市内十のまちづくり委員会単位で、コミュニティプランを作成しています。

『コミュニティプラン』とは、地域が主体となった地域コミュニティ活動の推進に向けた指針として、地域の将来像や課題、その解決に向けた具体的な活動などをまとめた計画です。作成する意義として、「地域の課題共有」「国・自治体で対応できないもので地域が協力してできること、地域独自でできることを振り分ける」「プラン作成過程におけるソーシャルキャピタル（地域の絆）の形成」などが挙げられます。

豊津地区は、ご承知のとおり市内まちづくり委員会の区域では最小の地区です。市が作成する計画は市全体が対象となるため、豊津地区があまり該当しないこともあり、独自で、こういった点からも豊津地区独自の計画が必要となってきます。



第一回会議内容

九月二十七日

最初に事務局から、地域コミュニティプラン作成事業についての概要説明がありました。

続いて、昨年度まちづくり講座で常磐大学砂金教授が行った講演を撮影したDVDを視聴しました。内容は、コミュニティプラン策定の意義について。

この後、コミュニティプランの作成について、委員間で意見交換を行いました。その結果、既に昨年度の研修を受けた方々が一定の課題を整理し、地区の将来像、それを達成するための活動方針についてまとめていることから、それを基にしてコミュニティプランを作成していくことが確認されました。

十月十日までに、各団体でこの内容を基に課題等を整理し、事務局へ提出していきます。

今後の予定

- ・作成期間 令和二年度末まで（プランの事業は以降も継続実施）
- ・まちづくり講座 リモート形式での常磐大学先生方との事業調整
十月二十五日 十二月六日
- ・お示しできる内容は随時公表いたします。

No.	氏 名	所属団体等
1	和田 勉	まちづくり委員会
2	海老沢 良政	まちづくり委員会
3	宮崎 比呂志	大船津新田区長
4	濱田 善久	大船津第一区長
5	青野 重寿	大船津第二区長
6	坂本 次雄	大船津第三区長
7	小沼 信夫	爪木区長
8	高安 広子	うらら会会長 （地区社協）
9	内田 博道	おおふなつ自警団
10	山町 浩信	豊津小PTA会長
11	伊原 健市	消防団
12	藤枝 英夫	市役所協力職員
13	桐生 進一	市役所協力職員
14	君和田 浩幸	市役所協力職員
15	沢畑 好一	公民館長
リーダー・・・和田 勉 サブリーダー・・・海老沢 良政 ※ご提案等ありましたら、上記団体代表者 か事務局（豊津まちづくりセンター 大川・黒須）までお願いします。		

参考資料

『地域コミュニティに関するアンケート調査』結果について

中央公民館が、コミュニティに関する意識等の調査を今年7月23日から8月15日にかけて、20歳以上の市内在住者（無作為抽出した3,000人）に対し行った結果の豊津地区分（抜粋）です。（回答率38.5%）

1 あなたは、お住いの地域（小学校区）に愛着がありますか。

愛着がある	どちらかという と愛着がある	どちらかという と愛着はない	愛着はない	わからない	無回答
24	13	6	1	3	5

2 あなたが住む地域（小学校区）では、地域活動が活発に行われていると思いますか？（複数回答）

	活発に行わ れている	どちらかという と活発に行われている	どちらかという と活発ではない	活発では ない	わから ない
学習の機会づくり	8	17	3	1	19
親睦・交流事業	14	19	5	1	10
お祭り・伝統事業	19	21	4	1	6
防災	6	18	9	2	14
防犯・交通安全	9	23	4	3	10
高齢者福祉	7	21	6	1	14
子育て支援	3	13	7	2	20
青少年の育成	5	9	11	2	20
環境保全・美化	11	26	3	2	8
健康づくり	7	21	5	1	15
スポーツ活動	8	17	7	1	15

3 地域住民が主体となって取り組む地域の活動において、もっとも優先して取り組むべきことは、どんなことだと思いますか？（3つまで回答可）

学習の 機会づ くり	親睦・ 交流事 業	お祭 り・伝 統事業	防 災	防犯・ 交通安 全	高齢 者福 祉	子育 て支 援	青少 年の 育成	環境保 全・美 化	健康 づく り	スポ ーツ 活動
6	14	8	18	20	16	11	4	11	15	4

4 あなたの世帯は、自治会に加入していますか？

加入している	加入していない	無回答
38	12	2

5 今後、地域の住民が安心して、楽しく地域で暮らしていくために、地域で活動する自治会をはじめとする各種団体が果たす役割は、どのように変化すると思いますか？

大きくなる	どちらかという と大きくなる	どちらかという と小さくなる	小さくなる	わからない	無回答
2	9	19	1	17	4

6 お住いの地域をより住みやすくするために、地域活動は大切だと思いますか？

思 う	思わない	どちらでもない	無回答
40	1	8	3

7 地域活動に参加しやすくするために必要なことはどのようなことだと思いますか？

地域の情報を提供、共有すること	27
活動の曜日や時間を参加しやすいように設定する	26
インターネット上での参加など、多様な参加方法を用意する	10
祭りや行事の実施と参加の働きかけ	9
活動の内容がマンネリ化しないようにする	10
いったん加入するとしがらみでなかなかやめられないなど、閉鎖的な雰囲気をなくす	18
成果や貢献が具体的に見える活動をする	7
地域内のいろいろな住民組織が連携して一緒に取り組める活動をする	9
参加した人が何らかのメリットを得られるようにする	9
多くの住民が関わることのできるテーマに取り組む	15

★ 結 果 ★

◎グラウンドゴルフの部

優勝 黒須はるさん
準優勝 高安茂さん
3位 秋竹千代さん

◎輪投げの部

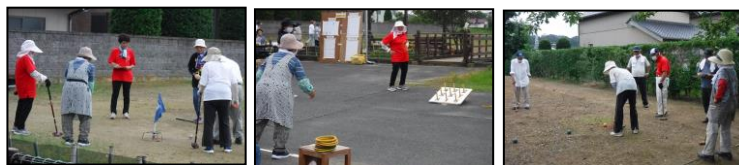
優勝 遠藤道子さん
準優勝 君和田つるさん
3位 小沼義夫さん

◎クロッケーの部

優勝 大船津Bチーム
準優勝 大船津Aチーム
3位 新田Aチーム

予定していた六月二十五日からしばらく天候に恵まれず、ようやく七月二十八日に実施することができました。今回は、コロナ禍による外出制限などにより練習量が減っていたとは思いますが、これまで鍛えてきた腕を存分に披露するとともに、三密を意識しながら交流を深めていました。

高齢者スポーツ大会



▲ (左から) グラウンドゴルフ・輪投げ・クロッケー

楽しかった収穫祭



とよつキッズ

新型コロナの感染状況が少し落ち着いた8月8日、リトルファームで育ったスイカを味わい、またスイカ割りをして楽しみました。

また、ファームの一部に植えた百日草の摘み取りもし、お土産として持ち帰りました。

育成会役員のお父さん特製のカキ氷も大好評でした。おいしかったですね。



霞ヶ浦の水質と浄化について学びました

8月12日、とよつキッズの移動教室を実施しました。今回のテーマは、「湖上体験スクール」。

遊覧船に乗って、霞ヶ浦の水質検査を、茨城県霞ヶ浦環境科学センターでは水質浄化の勉強をしました。私たちの大事な水源である霞ヶ浦(北浦)の大切さについて、改めて学びました。



ソフトボール大会は大船津第二区がV

コロナ禍による会場規制が解かれた七月二十四日、恒例のソフトボール大会を実施しました。

ステイホーム期間が長くなり、運動不足気味の参加者が多かったようですが、みんな楽しくプレイしました。

決勝は、平均年齢が若干若かった(?)大船津第二区が猛攻を重ね、大船津第一区を下し見事優勝しました。

【写真】左上・入場口で厳しい?検温、左下・最優秀選手賞の久保原茂男さん(大船津第二区)右・優勝した大船津第二区のメンバー



SNSもご覧ください

豊津まちづくり委員会活動の情報は、この広報紙以外にSNSでも発信していることは前号でもお知らせしました。フェイスブックやツイッターの他、まちづくり市民センターのホームページにも掲載されています。まだご覧になっていない方もいるかと思いますが、今号からアクセスしやすい様にQRコードを載せました。速報性の高いSNSもどうぞご覧ください。

鹿嶋市郷土カルタから

今年7月鹿嶋市郷土かるた制作実行委員会が新しいカルタを作成しました。全四十五枚の中から豊津に関係するものを紹介します。

- ① 鹿行を結ぶ 神宮橋
② 渡御の先陣務めていくは新田かぐら
③ 午年は 式年大祭 御船祭
④ 夕日で 真赤に染まる 北浦湖畔



◆ つぶやき ◆

新型コロナウイルスは、まだまだ収束の兆しが見えません。感染症拡大防止の為に、まちづくり委員会でも大幅な見直しをしております。暫くはWithコロナの生活が続くでしょう。この異常な状況など、かつて経験したことのない現象に遭遇することが近年多くなっています。自然の摂理によるものなのか、人類が自然の摂理に背いた報いなのかは分かりませんが、未来の子供たちのため、持続可能な社会に変えていく努力は必要ですね。(F)